



# 第12回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園

## グランプリ受賞アイデア製品化へ

### アイデアがカタチに!!

グランプリ受賞作品「BBQを便利にするアイデア」が、『エアロディッシュ』と名付けられ製品化に向けて進み出しました。製品化には豊橋市の支援要請により、産学官共同研究や地域産業支援のための事業を行う株式会社サイエンス・クリエイトと、食品包装資材などの総合加工と販売を行う大三紙業株式会社がサポート。「豊橋工業課題研究班3」のメンバーは地元の支援をうけて、自分たちのアイデアを社会に送り出したいと意気込んでいます。



#### アイデアの概要

BBQをより楽しむアイデアとして、BBQで紙皿が風で飛ばない皿を考案。

#### 生徒のコメント

代表:野沢 祥太さん

私達の考えた皿のアイデアは、日頃不便に思っていることを、ちょっとした工夫で解消できるので、とてもいいアイデアであると思います。ただ、それを他の人たちにうまく伝えることに苦労しました。人によっては「たったそれだけ?」と関心をしてくれないので、模型を作って実験をして、そのときの映像を見せると「なるほど!」と言ってくれたので、発表用のプレゼンでは、実験映像の他に紙皿を使って困った日常のシーンも映像にしてこのアイデアの必要性をアピールしました。その結果グランプリを受賞でき、多くの方に良い評価をいただきました。さらに、商品化の話まで持ち上がりとても満足しています。

#### 担当教員 小久保先生のコメント

生徒達は多くのアイデアを出し合い、話し合うことにより考える力や伝える力を成長させることができました。その力を試すためにコンテストに応募しましたが、素晴らしい結果を残すことができました。また、実現性が高く商品価値のあるアイデアを出すことによって、工業高校でも製品化に向けて企業と組めることに感激しています。

#### アイデアの誕生から製品化にむけての経過

平成25年4月	●授業の一環で課題研究がスタート。
平成25年4月~7月	●毎週1案を作成し、班員で内容を検討し改善。アイデアノートとしてストックしていった中から、最終アイデアをまとめあげる。
平成25年7月	●発案するアイデアの資料作成。
平成25年7月~8月	●夏休み中にアイデアの試作と実験の実施。
平成25年9月	●試作と実験をもとに資料を追加。全国高等学校ビジネスアイデア甲子園へのエントリー。
平成25年10月~12月	●最終審査用プレゼンテーションに向けての資料作成。
平成25年12月	●第12回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園グランプリ受賞!! ●地元新聞等の取材(最終審査会前と受賞後)。 ●「ワールドビジネスサテライト」(テレビ東京系列等で放送)へ取材依頼の申込が入る。 ●豊橋市より、製品化に向けての支援要請(大三紙業へ)。
平成26年1月	●「ワールドビジネスサテライト」収録。 ●大三紙業と製品化に向けて打合せ、デザイン案を作成。 ●「ワールドビジネスサテライト」[トレンドたまご]放送。 ●大三紙業へデザイン案を送付。
平成26年1月30日現在	●型屋で実現可能なデザインを選定し、その中から最終的なデザイン決定。 ●今後は型製作、試作、製品製作、パッケージング製作予定。

#### 豊橋市産業部長 瀧川 雅弘氏のコメント

豊橋の高校生のアイデアが実際に製品化されることとなり、関係者一同大変喜んでおります。一見非常にシンプルなアイデアに見えますが、グランプリ受賞の裏には、日々の創意工夫と徹底的な実験・検証の取り組みがありました。製品が店頭に並び日を一同心待ちにしております。

#### 大三紙業株式会社 代表取締役 松井 孝悦氏のコメント

BBQで紙皿が飛ばされるという誰もが不便を感じている些細な事に注目したアイデアはすばらしいと思います。自分たちのアイデアが形になり、そしてそれが市場に出るという機会はなかなかない事ですので是非その喜びを感じて欲しい、お手伝いさせていただきます。



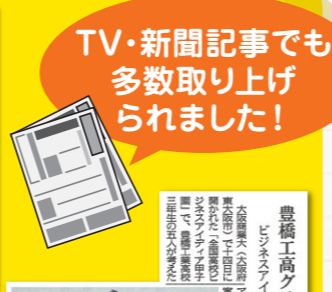
▲中日新聞/2013年12月14日付 東三河版



▲中日新聞/2013年12月17日付 東三河版



▲東日新聞/2013年12月18日付 社会面



▲東愛知新聞/2013年12月19日付 社会面



●テレビ東京系列 ワールドビジネスサテライト「トレンドたまご」(2014年1月17日放映)で紹介される。

TV・新聞記事でも多数取り上げられました!

完成が楽しみです!



# 第12回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園

## 2013年度 事業記録

自由な発想力で  
わくわくする社会に!



# 第12回全国高等学校 **ビジネスアイデア甲子園** 受賞者紹介

今年度は全国の高等学校160校から6,189点のアイデアの応募がありました。多数の応募作品の中から厳正な書類審査を経て最終選考に7作品が選ばれ、2013年12月14日に本学で最終審査会を開催しました。考案者自身によるプレゼンテーションを実施し、アイデアの独創性や市場性、プレゼンテーション力を審査。その結果グランプリ1件、準グランプリ2件、審査員特別賞4件の各賞が決定しました。また熱心な取り組みと優れた作品の応募があった高等学校に贈る学校賞に選ばれた25校の皆さんとともに表彰式を執り行いました。ゲスト審査員の株式会社サンクレスト 植田 実代表取締役による記念講演会やワークショップを開催。受賞高校生たちの交流の場ともなり大変有意義なものとなりました。



みなさま  
おめでとう  
ございます!



## グランプリ



(左から)野沢 祥太さん、伊藤 友一さん、小川 卓哉さん。

愛知県立豊橋工業高等学校 3年  
グループ名:豊橋工業課題研究班3  
野沢 祥太さん、伊藤 友一さん、  
小川 卓哉さん、影山 裕紀さん、  
大羽 巧也さん



大羽 巧也さん 影山 裕紀さん

受賞作品タイトル

### 「BBQを便利にするアイデア」

せっかくのバーベキューなのに、紙皿が風で飛ばされて台無しになった。そんな経験をした人も多いはず。バーベキューをもっと楽しみたい。そこで風で飛ばないお皿を考えました。

テーマは、4月から週1回、3時間連続の学校の授業で「課題研究班3」のメンバーがおののアイデアを出し合った結果をもとに絞り込んだ。問題はどのようにすれば風で飛ばないか、解決策を検討し、話し合った結果、三つの案が出た。①重くする②別のプレートに固定する③皿の形状を工夫する一の3案。新規性や使いやすさなどの点から夏までに形状を工夫する案を採用することにした。

夏休み。私たちは毎日のように登校し、試作品の制作に没頭した。フリスビーを加工するなどして、皿の縁の形状、角度、重さなどを検討した。作っては扇風機であおっての実験を繰り返した。

最終審査を前に地元新聞の取材を受け「優勝してきます」と宣言し、本当になって感激。メンバーはすでに就職も決まり、今後もそれぞれの立場で商品開発を手がけたいと思います。

## 準グランプリ



大阪商業大学高等学校 2年  
白坂 素晴さん

受賞作品タイトル

### 「らくらくレンジフードフィルター」

換気扇の汚れそうじで母がイライラ。そのうちに私にその仕事が行って来た。油で手が汚れるし、上向きの作業で疲れる。応募に当たってそのことを思い出し、試しに近所の主婦にも聞くと同じ思いを持っていることがわかった。そこで「らくらくレンジフードフィルター」を考案。トイレトペーパーのように引き出せ、ミシン目で切ることもできる。見栄えも良い。汚れに偏りがあるので、2区画に分け交換できるようにした。これが普及すれば、母も喜び私の仕事も減ると期待しています。



岡山県立岡山南高等学校 1年  
松本 夏実さん

受賞作品タイトル

### 「キョロキョロかっぱ」

突然の雨。もちろんそんなとき、かっぱはありがたい。しかし、かっぱを着てフードをかぶると、視界が狭くなり、危険がともないます。

クラスでアンケートを取ったところ、約4分の1の生徒がかっぱは着ないと答えた。その理由はやはり、視界の狭さ。また、フードがずれるのを防ごうと片手運転をするので危険、とも。フードがずれないようにサンバイザーで頭に固定し、かっぱをつなげる商品を考えて。キョロキョロと周りを見渡せ、子どもにもお年寄りにも安心と安全を提供できるはずと考えています。

## 審査員特別賞



富山県立富山北部高等学校 2年  
江連 秋さん

受賞作品タイトル

### 「ゴロゴロイヤホン枕」

イヤホンをしたまま、横を向いて寝ても耳がイヤホンに押しつけられて痛くならないようにデザインした枕。耳のあたる部分だけに小さな溝をつける工夫がされた商品のアイデア。



愛知県立春日井商業高等学校 1年  
高畑 幸歩さん

受賞作品タイトル

### 「よごれません」

たくさん文字を書くとき鉛筆で小指の横辺りが黒くなり、それが紙を汚してしまう。それを防止するため、手首に取り付ける道具を提案。手を洗いにいく時間も省ける便利グッズ。



大阪府立登美丘高等学校 1年  
井上 侑紀さん

受賞作品タイトル

### 「リバーシブルマヨ」

マヨネーズの量が少なくなったとき、上下どちらにたまってもすぐ出せるよう容器の上下にふたをつけるというアイデアで、最後までおいしく食べることを目指した商品。



大阪府立登美丘高等学校 1年  
森氏 茉衣さん

受賞作品タイトル

### 「スマイリー☆レインコート」

憂うつな雨の日も元気に外出できるよう、雨によってレインコートに色や柄がつくようにし、発光生地で夜間の移動にも配慮したアイデア。

## 取組について



文部科学省国立教育政策研究所  
教育課程研究センター 教育課程調査官  
文部科学省初等中等教育局  
児童生徒課産業教育振興室 教科調査官  
持田 雄一氏

「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」は、毎年、専門高校をはじめとして、第12回までの取組の中で、52,132件、1,317校と、多くの高校生が参加していると伺いました。日頃から先生方に御指導をいただいております実践的な学習活動で習得した専門的な知識・技術及び技能等の成果と、社会のために役立つ素晴らしいアイデアを提案するために高校生の視点で見た課題意識が互いに連携していることは、地域社会で活躍する人材を育成する上で、本事業を意義あるものに行っているものと受けとめております。

今回のコンテストでは、愛知県立豊橋工業高等学校のグループが、日頃の実践的な学習活動で「どのようなものをいかにつくるか」といったものづくりをとおして身に付けた能力から、「風で飛ばない紙皿」のビジネスアイデアを提案してグランプリを受賞されました。その活躍を学校所在地の市役所へ報告に出向いたところ、市長から、「地元企業と連携して製品化するよう」激励の言葉をいただいたと伺っております。支援の要請をされた地元企業に、製品企画を持ち込んでプレゼンテーションをした時には、手厳しい質問を受け、回答に困ったこともあったそうです。グループでの企画を、聞く人にとって魅力的な内容として、分かりやすく、また、興味を持って受け入れてもらえるよう、話し・伝えることの難しさも学んだことと思います。

夏休休暇期間中も毎日のように登校して試作品を製作し、実験を繰

り返して生まれた製品は、その誠意と熱意が地元企業に伝わり、現在、製品化に向けて試作、製品製作の企画が進行していると伺いました。また一つ、高校生の考えた素晴らしい製品が、使うときの不便や不満などを解決し、私たちの生活を温かいものとしてくれることでしょうか。

私たちの日常生活には、時代の変化に対応して次々に生まれる新しい商品やサービスにあふれております。現在は、正解が存在しない中で、いかにして最善の解決策を見いだせるのかということに重きがおかれているのではないかと考える中で、何らかの方法で解決しようと様々な課題を乗り越えるうちに、まわりの方から認められる素晴らしい製品が生まれることにつながります。

参加された皆さんは、身の回りの既存商品やサービス等を見渡し、「こんなものがあったら便利だな」「これは、こうしたらもっと使いやすくなるかも」「こんなところが危険だから改善しよう!」といった様々な不便や不満等を感じることに、小さな気付きをそのままにしておくことなく、自由な発想を持っていかに解決していくのかといったプロセスについても学んだものと思います。

社会の変化に柔軟に対応し、自立した人材の育成を目的とした起業教育の実践の場として、全国の高校生に新しい商品やサービスに関するアイデアを募集する本コンテストは、企業内の活動を模倣的に実践することになり、このような取組を教育課程に適切に位置付けて活用を図ることは、学校を活性化することにもつながるものと考えます。

それは、将来、起業や会社経営を目指す生徒だけではなく、起業家精神、ビジネスに関する様々な知識・技術及び技能、思考力・判断力・表現力、倫理観、規範意識、コミュニケーション能力、課題解決能力等々、様々な能力を身に付けることにつながる取組であると考えられます。

高校生らしい素朴な課題意識から、新しいビジネスプランを構想する今回のアイデアにも期待しております。

## 学校賞

※都道府県順

- 宮城県蔵王高等学校
- 明桜高等学校
- 千葉県立東金商業高等学校
- 東京都立大学付属 中学校・高等学校
- 横浜市立横浜商業高等学校
- 富山県立富山北部高等学校
- 静岡県立浜松大平台高等学校
- 愛知県立緑丘商業高等学校
- 愛知県立春日井商業高等学校
- 愛知県立一宮商業高等学校
- 滋賀県立長浜北星高等学校
- 大阪府立大阪 ビジネスフロンティア高等学校
- 大阪市立淀商業高等学校
- 大阪府立門真西高等学校
- 同志社香里中学校・高等学校
- 大阪商業大学高等学校
- 大阪女子短期大学高等学校
- 大阪府立登美丘高等学校
- 兵庫県立神戸商業高等学校
- 兵庫県立洲本実業高等学校
- 岡山県立岡山南高等学校
- 岡山県立岡山東商業高等学校
- 岡山県立倉敷商業高等学校
- 岡山県立笠岡商業高等学校
- 九州産業大学付属九州高等学校

# 全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 「先輩、からのアドバイス」

高校生が自由な発想で新しい商品・サービスやビジネスモデルを提案する「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」(大阪商業大学、毎日新聞社主催)の第12回大会の最終審査会を前に、大阪商業大学が実学教育の一環としてビジネスアイデア甲子園をレベルアップした形で学内で開いている「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」の学長賞受賞者ら4人に集まってもらい、谷岡一郎学長とともにビジネスアイデアを考える意味や楽しさについて語ってもらった。

**学長:**高校生向けに2002年から「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」を行い、03年からは学内で「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」を開催しています。起業家精神あふれる人材を育成するのが目的です。みなさんは、そのコンテストで入賞されました。取り組んで感じたことや自身の考え方の変化について話してください。

**岡本:**フィットネスクラブのモチベーションの維持のため、カロリーを消費すれば割引が受けられるシステムを考案しました。自転車型トレーニングマシンによる発電などで売電し、割引分に充当します。

**学長:**ビジネス・アイデアコンテストで入賞したことをきっかけに、みなさんはこれからはどのようなことをしようと考えていますか。

**岡本:**学長賞を受賞して海外の大学生とのシンポジウムにも参加させてもらいました。今後は海外留学の経験も生かし、世界で企業人として活躍できるように頑張りたいと思います。

**田代:**企業と連携して、私のアイデアを商品として実現させたいという強い思いがあります。それを具体的に進めていきたいです。

**学長:**デザインについて、使い手が自分のデザインと呼べるモノにすることはできないでしょうか？



ビジネスアイデアを考える面白さを語り合う参加者たち＝大阪商業大学

**田代:**お年寄りの交通事故を防ぐ目的で、蛍光ワッペンを考案しました。発想して、実際に商品にしてもらえるにはどうすれば?と考えるのが楽しかったです。

**山口:**「ラグビーのまち」東大阪のPRキャラクター「トライくん」といっしょに撮影できるプリクラを考えました。プレゼンテーションのやり方や企画書の書き方などを教えてもらい、とても勉強になりました。

**田中:**アンケートを基に、マッチのように着火できる線香を考えました。昨年度のコンテストで学長賞をいただいたのをきっかけに今回のコンテストでは開催運営リーダーも務め、周りといっしょにつくり上げる楽しさも学びました。

**田代:**デザイナーさんを想定していましたが、自分でデザインすることも考えてみたいですね。

**学長:**山口さんは1年生。過去に学長賞を2回連続受賞した学生もいるので、これからも目標をさだめて頑張ってくださいね。

**山口:**まだまだ、学生として学ばなければいけないことがたくさんあり、学業に専念するつもりですが、そのうえでアイデアを考える裾野を広げ、次回も挑戦したいですね。

**学長:**大学では大学の枠を超えてベンチャースピリットを応援しようと、学内に起業家向けのインキュベーション施設「アントレ・ラボ」を設けています。田中さんはそこを利用していますね。

**田中:**ラボで自分のアイデアの商品化を考えています。自分自身にノルマを課し、夏休み中も60くらいのアイデアを考えました。考えつく度にメモを取り、自宅で詳細を調べています。将来はライセンスビジネスの会社をおこしたいと思っています。

**学長:**アイデアを考えるきっかけとなり、役に立った講義は？

**山口:**古沢昌之先生の「OBPアントレプレナー論」です。企画書の書き方や、コンテンツビジネスなどを学びました。講義で自分のアイデアを発表する機会もあり、発表を通じてアドバイスもいただきました。

**田代:**糸野博行先生のゼミで、「中小企業論」を学んでいる際に、アイデアを紹介するDVDを見せていただいたのが大きな刺激になりました。

**田中:**私も糸野ゼミです。フィールドワークで中小企業を回りました。いろいろな企業の方とお会いし、問題解決の協力をしていただき、大きく成長できたように思います。

**学長:**日本の会社の95%は中小企業です。中小企業のリーダーはすべての業務をこなさなければならない。何より、人がついてくる人物でないと務まらない。そういう人と話せたというのは、とてもいい経験でしたね。

**岡本:**私は、柴田孝先生の「貿易論」です。講義で太陽光発電の仕組みや発電量のこと、さらに固定価格買取取り制度のことを具体的に知り、スポーツジムで発電するというアイデアが生まれました。

**学長:**最後に「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」に挑戦する高校生へのメッセージを。

**田中:**この世界にはまだまだ不満や不自由がいっぱいあります。それを改善できる商品を考えてください。

**岡本:**提案は力試しの、いい機会。挑戦することで自信が生まれ、また次のステップを踏む力となります。がんばってください。

**田代:**一生懸命考えたことは必ずモノになると、自信を持って取り組んでください。

**山口:**私も高校生のとき応募しました。アイデアを出しまとめ上げることは大変ですが、アイデアを考えていると知らないうちにあらゆる方面に目が向き、伸びていることを実感します。ぜひ、トライしてください。



最終審査・表彰式運営に携った学生委員会の学生たち

## 第11回大商大 ビジネス・アイデアコンテスト 入賞アイデア作品が製品化実現へ。

入賞アイデア「オシャレ蛍光ワッペン」は車のライトなど光が当たることで、自分の存在を知らせることができる高輝度反射ワッペン。オシャレな交通安全対策商品です。その発案者である経済学部経済学科4年生の田代翔太君は、現在、課題提供企業の旭電機化成株式会社協力のもと、製品化を進めています。

### アイデア誕生から製品化に向けての過程

平成25年6月	旭電機化成株式会社の課題「お年寄りや、からだの不自由な方のくらしが楽で安全になる商品」への応募を決め、アイデア作成に入る。
平成25年7月～9月	第1・2・3次審査を経てファイナルプレゼンテーションへの進出決定。
平成25年10月26日	第11回大商大ビジネス・アイデアコンテストファイナルプレゼンテーション東大阪商工会議所会頭賞受賞
平成25年11月27日	<b>第1回 旭電機化成と打合せ</b> ●アイデアの紹介(第1試作品) ●安全商品の物品の確認・商品化までの過程を確認
平成25年12月9日	<b>布施警察署を訪問</b> ●高齢者の交通事故件数を確認 ●高齢者事故の事例を確認・安全商品の物品事例を確認
平成25年12月11日	<b>第2回 旭電機化成と打合せ</b> ●布施警察署での調査結果を報告 ●ターゲット、使用場所(シーン)、原価等を確認
平成25年12月26日	<b>第3回 旭電機化成と打合せ</b> ●アンケート調査実施の依頼 ●デザイン・サイズ・イメージを本格的な型の第2試作品を製作
平成26年1月11日～21日	<b>アンケート調査実施</b>
平成26年1月22日	<b>第4回 旭電機化成と打合せ</b> ●アンケート調査結果を報告 ●第2試作品を製作
平成26年1月27日	<b>第5回 旭電機化成と打合せ</b> ●第77回東京国際ギフトショーでバイヤーの意見を確かめるための第3試作品を製作
平成26年2月5日～7日	第77回東京国際ギフトショーで試作品に対するマーケティング調査実施

### 田代君からのコメント

「第11回大商大ビジネス・アイデアコンテスト」をキッカケに自分のアイデアを製品化するという夢に向かって歩んでいます。進めていけばいくほど製品化への難しさを実感していますが、その難しさを楽しみにかえ、いい経験にしたいと思っています。学生時代にまたとない製品化するというこのチャンスを活かせるよう頑張っていきたいと思っています。

### 旭電機化成株式会社からのコメント

旭電機化成株式会社 専務取締役 原 守男氏  
学生と一緒に新製品を開発するのはとっても楽しいです。社会人になっても「感性」「発想」「新鮮感覚」が魅力です。なんとか製品化するという夢と一緒に追いかけて、販売へと漕ぎ着けたいと思っています。

### 旭電機化成株式会社について

創業以来50年、プラスチックの成型を中心に最近ではプラスチックを有効に利用したオリジナル商品を開発。自社製品開発に企画提案制度を導入し、自社はもちろんのこと、一般の方からのアイデアも製品化している企業です。

### プロフィール



大阪商業大学  
谷岡 一郎学長  
総合経営学部教授(応用社会調査論)。主な著書に「ツキの法則」(PHP出版)、「キャンブルの社会学」(世界思想社)など



岡本 梨沙さん  
総合経営学部  
商学科3年  
第11回学長賞(2013年度)  
「脂肪もコストも燃焼!!  
フィットネスクラブ」  
第9回特定非営利活動法人「東大阪地域活性化支援機構」理事賞受賞(2011年度)



田中 伸我さん  
総合経営学部  
経営学科3年  
第10回学長賞(2012年度)  
「着火線香」  
大商大アントレ・ラボに入居



田代 翔太さん  
経済学部経済学科4年  
第11回東大阪商工会議所会頭賞  
「オシャレ蛍光ワッペン」  
旭電機化成と連携、製品化に向け進行中



山口 綾乃さん  
総合経営学部商学科1年  
第11回審査員特別賞  
「トライくん&プリクラ撮ろう」  
第11回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園(2012年度)応募経験者

# 第1回(2002年度)～第11回(2012年度)入賞作品一覧

ご応募いただいた全ての作品が、ビジネスアイデア甲子園の歴史と未来を支えています。

## 2002年度入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 大島 知香さん(京都府立大江高等学校 3年)  
「鬼温計」  
大江町は「鬼伝説」で有名な町で、大江高校ではこれまでも授業の一環として鬼グッズのアイデア開発に取り組んできた。「鬼温計」は、体温計の棒の上にかわいい鬼の顔がついて、体温を計る前は青鬼、平熱だと薄いピンク色、高熱の時は真っ赤な赤鬼になるという体温計。

### 準グランプリ(3作品)

- 小園 かつみさん 他4名(大阪府立金剛高等学校 3年)  
「切符のウラは何じやるぞ?」
- 山本 修子さん(京都府立商業高等学校 2年)  
「案内情報端末」
- 森 頼子さん(滋賀県立八幡商業高等学校 3年)  
「Moviegoers」

### 審査員特別賞(9作品)

- 根本 真紀さん(京都府立商業高等学校 3年)  
「新しいクレヨン「クレミツ」」
- 迫田 渉子さん(京都府立大江高等学校 3年)  
「計算スルー」
- 太田 夏海さん(京都府立南丹高等学校)  
「インスタントカメラ「写(しゃ)べるんデス」」
- 阪本 樹理さん(奈良県立北和女子高等学校 3年)  
「世界でたったひとつ 私だけのオリジナルメカ 略してオメガ」
- 北戸 幸恵さん 他3人(大阪府立金剛高等学校 3年)  
「いつでもどこでも、便利な着せかえコギコギ充電器」
- 宮崎 綾さん 他5人(大阪府立金剛高等学校 3年)  
「安心 もうマリリンモンローにはならない」
- 藤田 大吾さん(京都市立伏見工業高等学校 3年)  
「サプリメントバー」
- 南 良子さん(滋賀県立大津商業高等学校 3年)  
「ばよボーチ」
- 本郷 真美さん(大阪市立扇町総合高等学校 1年)  
「収納プランナー&スタッフ」

## 第2回(2003年度)入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 深井 範子さん(滋賀県立八幡商業高等学校 3年)  
「ベランダでプチ農園 -自宅で採ろうフレッシュ野菜-」  
このアイデアは、毎月、収穫期～2週間前の野菜をプランターごと宅配するもので、水をやったりして野菜の世話を楽しくもともに、食べ頃になったら新鮮な野菜を必要だけ取って食べることができる。残りの土やプランターは次の配達の際に、業者が持ち帰ってくれるという、ちょっとわがままな現代の消費者ニーズをうまくとらえたサービス。

### 準グランプリ(3作品)

- 長谷川 里奈さん・福岡 里乃さん(岡山県立岡山商業高等学校 1年)  
「あたり付き牛乳パック計画 -小さなことからコツコツ!-」
- 宮本 優さん・井上 智美さん・古野 峰彦さん・山本 紗和子さん  
グループ名:おにぎりフォース  
(京都府立京都すばる高等学校 3年)  
「～ちぎって捨てる～おにぎり4(フォー)」
- 時岡 洋平さん・佐野 雅哉さん・安黒 裕樹さん・大東 啓太さん  
グループ名:A・S・T・O(神戸市立神港高等学校 3年)  
「次世代型配達システム」

### 審査員特別賞(8作品)

- 鏡 正枝さん(愛知県立一宮商業高等学校 3年)  
「環境&節電冷蔵庫」
- 菊永 加奈さん(岡山県立笠岡商業高等学校 1年)  
「ロケット水彩筆ペン」
- 山内 朋美さん(京都府立大江高等学校 3年)  
「もったいないんジャー」
- 杉山 彰将さん・酒谷 佑一さん・笹田 美香さん・中島 優香さん  
グループ名:チャリでゴーゴゴ!  
(京都府立京都すばる高等学校 3年)  
「空気満輪(くうきまんりん)」
- 野口 裕太さん(京都府立南丹高等学校 3年)  
「金額調整型自動販売機(飲みたいんや!)」
- 林 桃子さん(京都府立南丹高等学校 3年)  
チョコレート新商品開発「舞妓ちょこれいと」

- 太田 友紀子さん(高知県立窪川高等学校 3年)  
「歯科医院でリラックスをもたらす顔カバーを添けるサービス」
- 横内 愛佳さん(守山市立守山女子高等学校 1年)  
「コンタクトが目からはずれると、はずれたコンタクトに色がつく」

## 第3回(2004年度)入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 坂田 美幸さん(長崎県立宇久高等学校 3年)  
「音声つき♪思い出っばい♪昔なつかしアルバム」  
写真の横に音声録音ができる部分のあるアルバム。近年、カメラ付携帯電話やデジタルカメラが普及し、手軽に写真が楽しめるようになり、写真整理のノウハウ、テクニックが目目されている。様々なコメントを音声で簡単に記録することで、当時の思い出がより鮮やかによみがえるというアイデア。従来がない新しい写真整理の方法であるという斬新さ、年齢に関わらない簡単な操作性、高い実現可能性という点が評価された。

### 準グランプリ(3作品)

- 黒崎 悠太さん(岡山県立岡山商業高等学校 1年)  
「開店援助サービス」
- 中野 綾子さん(神戸市立六甲アイランド高等学校 3年)  
「パソコンリンクコンビニコピー」
- 松本 美雪さん、山中 文子さん  
グループ名:松山屋-MATUYAMAYA-(京都府立京都すばる高等学校 3年)  
「Roly-Poly(ローリー・ポリー)」

### 審査員特別賞(10作品)

- 石津 雅美さん(滋賀県立大津商業高等学校 3年)  
「みるみるミルク」
- 伊藤 春作さん(大阪市立天王寺商業高等学校 3年)  
「災害物資保険」
- 扇谷 望さん(大阪府立金剛高等学校 3年)  
「行きたい場所を入力するとそこまでの切符を販売するだけでなく、その地域の名所や観光ルートまで案内してくれ、施設のチケットも販売してくれる券売機。」
- 北岡 絵里香さん(大阪市立市岡商業高等学校 3年)  
「見たい!聞きたい!返したい」
- 木村 望希さん(山口県立長府高等学校 2年)  
「見えラップ」
- 瀬浪 麻衣さん(岡山県立岡山商業高等学校 1年)  
「カラオケライブ」
- 田崎 恵莉さん(国立京都教育大学附属高等学校 1年)  
「相手に喜んでもらえるプレゼンが贈れるアイデア」
- 原田 夏子さん(戸板女子高等学校 1年)  
「楽カギ★」
- 舛田 周さん  
グループ名:MD戦隊アベンジャーズ  
(大阪市立扇町総合高等学校 2年)  
「pen's memory」
- 本山 末由希さん(山口県立長府高等学校 2年)  
「バス+スロープでバスロープ」

## 第4回(2005年度)入賞作品

### ニュービジネス賞 グランプリ(1作品)

- 尼田 聖明さん(同志社香里高等学校 3年)  
「お薬手帳～GooDrug(グッドラック)～」  
病院で受け取る薬に関する情報を、電子手帳形式の端末機器にインプットしていくというアイデア。薬の説明書は病院にいくたびに増え管理に困るほか、紛失や高齢者には読みづらいといった問題を有している。本企画は、このような「不便・不満」に答える情報化社会ならではのものである。

### 準グランプリ(2作品)

- 窪田 理沙さん(田園調布双葉中学高等学校 3年)  
「21世紀型高性能ナビゲーション付き車椅子」
- 西川 葵さん(山口県立大嶺高等学校 2年)  
「モバイル冷蔵庫」

### 審査員特別賞(10作品)

- 杉原 さやかさん(代表) グループ名:GO☆HAN  
(京都府立京都すばる高等学校 2年)  
「ピタッとくん」
- 醍醐 航さん(成城学園中学校高等学校 3年)  
「デリバリーピズ(デリピズ)」
- 田原 裕資さん(清風高等学校 2年)  
「ファッションストリート」
- 古田 みず穂さん(京都教育大学附属高等学校 2年)  
「知りたひ!自分に似合う服!」

- 村山 直樹さん(大阪市立天王寺商業高等学校 3年)  
「今日の1枚」
- 門出 祐介さん(滋賀県立八幡商業高等学校 3年)  
「おかんをアウトソーシング ～健康と人の暖かさ～」
- 安岡 千佳さん(代表)  
グループ名:SU★BA★RU☆(4)  
(京都府立京都すばる高等学校 2年)  
「Tilt Bottle」
- 山口 尚紀さん(代表)(大阪府立金剛高等学校 2年)  
「超短期バイトラベル」
- 山田 千晶さん(京都府立南丹高等学校 3年)  
「分かるんです」
- 山田 真子さん(富山県立高岡商業高等学校 3年)  
「家計が得意さん(家計簿上手)」

### 地域や社会を元気にするビジネス賞 グランプリ(1作品)

- 山崎 貴大さん(東海大学付属第三高等学校 2年)  
「地域振興証券」  
「地域振興証券」とは、商店街を構成する個店などを証券化し、その証券を商店街の利用者や地域住民に購入してもらい、商店街振興につなげるという企画。「配当」を商店の販売する商品にとどめず、各種サービスや地域通貨で提供することによって、いっそうの地域振興を図ろうと考えている。

### 準グランプリ(1作品)

- 喜畑 奈津美さん(代表)  
グループ名:なっちゃんズ☆(三重県立相可高等学校 3年)  
「豆乳伊勢茶プリン」

### 審査員特別賞(6作品)

- 工藤 梨乃さん(美萩野女子高等学校 3年)  
「バーバッドコム」
- 國本 優紀さん(代表)  
グループ名:アイデア工房  
(京都府立京都すばる高等学校 2年)  
「おおきに京都DAY」
- 佐野 南津子さん(代表)  
グループ名:二本松町おこしチーム  
(福島県立福島商業高等学校 3年)  
「玉ようかんで二本松のちようちん祭り」
- 松井 亨介さん(代表)  
グループ名:横浜イ組(横浜市立横浜商業高等学校 3年)  
「ヨコハマロケ なりきりツアー 2005」
- 水野 花さん(代表)  
グループ名:チーム三木北(兵庫県立三木北高等学校 1年)  
「地球を守ってダイエット!エコ&ダイエット村」
- 横谷 有香さん(代表)  
グループ名:山羊っ子(広島県立庄原実業高等学校 3年)  
「山羊草刈り隊株式会社」

## 第5回(2006年度)入賞作品

### ニュービジネス賞 グランプリ(1作品)

- 土野 麻衣子さん(田園調布双葉中学高等学校 3年)  
「次世代チャリティー～JC Let's!!!」  
インターネットを用いて、参加者同士がコミュニケーションをとりながら、「自分ができることを提供する」チャリティーを組織化する。インターネットが新たなコミュニケーションツールとして発展する時代背景を的確に捉え、相互扶助を現代的な形で高めるコミュニティ・ビジネスを提示している。

### 準グランプリ(2作品)

- 内倉 健一朗さん(大阪市立天王寺商業高等学校 3年)  
「言ノ葉便(ことのはびん)」
- 曾田 美佳さん(岡山県立岡山商業高等学校 1年)  
「映画ナビ」

### 審査員特別賞(9作品)

- 稲貝 裕美さん(代表)(山口県立長府高等学校 2年)  
「バスライド」
- 鎌倉 未奈さん(代表)  
グループ名:タオル班(福島県立福島商業高等学校 3年)  
「プッチンタオル」
- 黒田 彩加さん(代表)  
グループ名:トマト'S(広島県立呉宮原高等学校 1年)  
「バンダー」
- 鹿山 大樹さん(京都府立木津高等学校 3年)  
「デジタル・レストラン」
- 高野 実貴子さん(清真学園高等学校 1年)  
「adDICT」

- 中村 璃絵さん(代表)  
グループ名:☆ピカソ(京都市立明徳高等学校 3年)  
「IC(安心)Children」
- 濱崎 雄三さん(代表)  
グループ名:ヌービー会社  
(大阪府立柴島高等学校 2年)  
「トーキングブッシュ(音声読み上げ機能付き自動販売機)」
- 南川 知奈美さん(代表)  
グループ名:牛津っ娘(佐賀県立牛津高等学校 2年)  
「おかんをアウトソーシング ～健康と人の暖かさ～」
- クッションつきスリングとベビーカーリユースシステム」
- 吉田 みなみさん(兵庫県立神戸商業高等学校 1年)  
「タクシー NEW ビジネス」

### 地域や社会を元気にするビジネス賞 グランプリ(1作品)

- 光田 裕也さん(広島県立三次高等学校 2年)  
「農村地帯の活性化プラン ～ニート問題と高齢化社会問題解決のために～」  
高齢やその他の理由で耕作されなくなった農地を組織化し、それを主に若者に就業機会として供給するという企画。高齢者には、農業アドバイザーとして関与してもらい、高齢者の生きがいを生むのみならず、日本農業の将来や食料自給率まで視野に入れている。

### 準グランプリ(2作品)

- 梅岡 美穂さん(京都府立京都すばる高等学校 3年)  
「ドキドキ! 秘密の京都ツアー」
- 萩原 惇平さん(富山県立富山商業高等学校 2年)  
「商店街利用促進隊」

### 審査員特別賞(5作品)

- 一番ヶ瀬 加織さん(代表)  
グループ名:牛津高校 調理師コース Aグループ  
(佐賀県立牛津高等学校 3年)  
「自分が収穫した野菜が料理になります。」
- 高木富美子さん(代表)  
グループ名:飯坂盛り上げ 上げ 隊  
(福島県立福島商業高等学校 3年)  
「けんか神輿おこし」
- 早崎 真一さん(京都府立京都すばる高等学校 3年)  
「京都風カラオケ」
- 矢口 睦さん(東京都立荒川商業高等学校 3年)  
「第二青春学校」
- 山津 恵理子さん(京都府立山城高等学校 1年)  
「傘ふれあうも多少の縁」

## 第6回(2007年度)入賞作品

### ニュービジネス賞 グランプリ(1作品)

- 嵯峨 恭子さん(兵庫県立洲本実業高等学校 3年)  
「脳活性化? 遊園地」  
最近流行しているゲームやテレビ番組をヒントに、そのエッセンスをミニ・テーマパークの運営へと応用している。近年の遊園地の経営動向にも言及し、その課題に対応する処方箋を豊かな着想で示している。

### 準グランプリ(1作品)

- 玉田 勇太さん(大阪市立中央高等学校 3年)  
「お年寄りに優しい熱中症対策の扇風機」

### 審査員特別賞(5作品)

- 前田 光穂さん(京都府立京都すばる高等学校 3年)  
「STANDER ～長年乗車可能軽自動車～」
- 福田 彩夏さん(東京都立荒川商業高等学校 3年)  
「RC MUSIC」
- 橋田 楓さん(宮崎県立宮崎商業高等学校 1年)  
「ラクラク・トレレン」
- 加藤 千枝さん(山口県立青嶺高等学校 1年)  
「SEA-Shopping Electric Adviser-」
- 田村 卓(代表)さん  
グループ名:STL(山口県立長府高等学校 2年)  
「Home バネル」

### 地域や社会を元気にするビジネス賞 グランプリ(1作品)

- 麻田 恵利さん(京都府立京都すばる高等学校 3年)  
「和菓子とともに、あの人のあの場所を廻るプラン」  
歴史上の人物をデザイン化した和菓子を、その人物ゆかりの地を中心に販売する作品で、和菓子と歴史という京都の地域資源を生かしている。販売期間も限定し、在庫を少なくするよう配慮もされている。また、採算性も緻密に試算されている。

### 準グランプリ(1作品)

- 小林 菜葉さん(代表)  
グループ名:横浜お試しレイロハハハ計画  
(横浜市立横浜商業高等学校 3年)  
「大商売ビジネス甲子園」

### 審査員特別賞(5作品)

- 篠崎 桂さん(代表)  
グループ名:青空2000(愛媛県立大洲高等学校 2年)  
「Hi School 国内交換留学」
- 志賀 美咲さん(代表)  
グループ名:CMガールズ  
(大分県立中津商業高等学校 2年)  
「進化する街「ゼネ・タウン構想」」
- 高橋恵美さん(代表)  
グループ名:え?え?のじょう>(共愛学園高等学校 3年)  
「大学に高校生をどう集めるか?」
- 三次 康友さん(清真学園高等学校 1年)  
「C.R.O.N.A.～新聞販売店からの地域再生～」
- 沖 奈緒美さん(代表)  
グループ名:11匹の渡り鳥  
(広島県立呉宮原高等学校 1年)  
「渡り鳥プロジェクト」

### 奨励賞(3作品)

- 白石 瞳里さん(代表)  
グループ名:商業研究部  
(下関市立下関商業高等学校 3年)  
「産業廃棄物「ぶくの骨」を使った、地域と地球を活性化させる商品の開発提案」
- 小林 寛子さん(筑波大学附属坂戸高等学校 2年)  
「Dear:Junior high school students」
- 添田 修さん(代表)(栃木県立高根沢高等学校 3年)  
「地域の隅たりを埋める情報ビジネス」

## 第7回(2008年度)入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 野口 雅貴さん(清真学園高等学校・中学校 1年)  
「防災セット点検サービス」  
配置業のシステムを利用して災害時に備える防災セット(防災袋・非常袋)の点検や取替えを行う新しいビジネスサービス。

### 準グランプリ(2作品)

- 小河 哲さん(岡山県立岡山商業高等学校 1年)  
「警報機付き点字ブロック」
- 大箸 貴宏さん(静岡県立天竜林業高等学校 2年)  
「アイデア調味料入れ」

### 審査員特別賞(4作品)

- 村中 晃輝さん  
グループ名:ガンパローズ(愛媛県立三崎高等学校 2年)  
「なりきりスタジアム」
- 山田 智子さん(広島県立尾道商業高等学校 3年)  
「超便利!! 自転車の使用範囲を広めよう」
- 水田 伊織さん(愛知県立一宮商業高等学校 3年)  
「帽子型ヒエビタ」
- 萩原 亜季さん  
グループ名:中商ガール(大分県立中津商業高等学校 2年)  
「バイバイ乗り過ごし」

## 第8回(2009年度)入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 湯澤 薫さん(清真学園高等学校・中学校 1年)  
「音楽療法配信サービス」

### 準グランプリ(1作品)

- 中 有香さん(奈良県立五條高等学校 3年)  
「起きたの知らせます。」

### 審査員特別賞(5作品)

- 横川 翔さん(京都市立大学附属高等学校 1年)  
「壁紙プロバガンダ」
- 三上 光さん・深川 瞳さん・藤尾 朱里さん・永井 美邑さん  
グループ名:「かあちゃんにとってはね、子供はみんなかあちゃんの子供!!」(広島県立呉宮原高等学校 1年)  
「個人情報守るオカン(ヒロミ)」
- 御前 春花さん(和歌山県立和歌山商業高等学校 1年)  
「色分け DE 分別★!」
- 桑澤 柚香さん(静岡県立浜松大平台高等学校 3年)  
「センサー付障害者専用駐車スペース」
- 阪本 綾美さん(和歌山県立和歌山商業高等学校 1年)  
「警報機付きペランダ手すり」

## 第9回(2010年度)入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 古本 力さん・佐伯 流星さん・竹内 哲也さん・山下 一将さん  
グループ名:パソコン部B(愛媛県立弓削高等学校 1年)  
「高齢者電話サービス(詐欺防止!生活安心サービス)」

### 準グランプリ(2作品)

- 浅見 祐美子さん(広尾学園中学高等学校 2年)  
「オーダーメイド・ブックストア」
- 中山 樹さん・園山 拓実さん・中田 美保さん・西岡 侑希子さん・野本 和歩さん  
グループ名:核家族化対策班  
(兵庫県立西宮高等学校 1年)  
「めぶぎの家」

### 審査員特別賞(2作品)

- 後藤 圭介さん(静岡県立伊東商業高等学校 1年)  
「ご近所ベント」
- 大橋 美月さん(滋賀県立大津商業高等学校 2年)  
「災害おたすけナビ」

## 第10回(2011年度)入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 横林 夕夏さん・吉原 晶穂さん・原 菜凜さん  
グループ名:「YAM」(大阪市立淀商業高等学校 3年)  
「NEW! 浴剤」

### 準グランプリ(2作品)

- 齋藤 友里菜さん・新村 有己乃さん・奥山 詩織さん・内藤 優衣さん(静岡県立浜松東高等学校 2年)  
「地域活性化事業 遊休農地の活用法「ドリームファーム事業」
- 石田 雅人さん(愛知県立杏和高等学校 2年)  
「マイマウスJFM」

### 審査員特別賞(2作品)

- 小西 莉加さん・古米 博和さん・中田 夏子さん(岡山県立高梁城南高等学校 1年)  
「節約ポンプ」
- 平野 朱華さん(福岡県立筑豊高等学校 3年)  
「直方商店街、活性化大作戦!!!」

## 第11回(2012年度)入賞作品

### グランプリ(1作品)

- 岡ノ谷 優貴さん  
(私立東京都立大学付属中学校・高等学校 1年)  
「ザ・スマート駅'sプレス」

### 準グランプリ(2作品)

- 勝崎 実輝さん(静岡県立浜松東高等学校 3年)  
「ジップバック」
- 澤木 亜実さん(岡山県立岡山南高等学校 1年)  
「みまもりポスト」

### 審査員特別賞(3作品)

- 中沢 可南子さん(長野県塩尻志学館高等学校 3年)  
「女性限定宅配サービス」
- 清水 結衣さん(愛知県立杏和高等学校 2年)  
「お知らせトマン」
- 前田 喜洋さん・富田 宗馬さん・藤井 貴也さん  
グループ名:圧縮BOY(愛知県立豊橋工業高等学校 3年)  
「簡易型ゴミ圧縮装置「吸ってQ」」

応募数の推移	応募作品数	学校数
第1回	597件	22校
第2回	1,296件	40校
第3回	2,398件	58校
第4回	3,775件	91校
第5回	3,309件	93校
第6回	4,374件	113校
第7回	4,762件	120校
第8回	5,832件	138校
第9回	5,702件	140校
第10回	6,604件	158校
第11回	7,294件	184校
第12回	6,189件	160校
合計	52,132件	1,317校